

読書を通しての、お互いの意見交換、気持ちの確認を行う取り組みを始め、約5ヶ月が過ぎました。最近成果が出てきているように感じます。

最初は社員に読書を勧めても、なかなか理解が得られず、「活字が苦手だから」「時間が取れないから」といった理由で、すぐ行動に移せませんでした。

しかし私達の「介護」という仕事を考えると、多くの事を知っておく事が利用者様のためにもなり、それが自分のためにもなります。

当然ですが利用者様は、教師、公務員、コック、技術者、理容師、専業主婦、など様々な仕事をしてこられ、出身地も、全国各地からの出身者です。

「介護の技術、知識だけの勉強では足りない」と、私自身が現場を通して感じました。

## 介護スタッフに読書のススメ

### 第8回

# アカルイ 介護ビジネス

若手経営者の新手法

## 教養身に付け 接遇力向上を



はっぴーライフ代表取締役社長  
辻川 肇史  
1978年1月生まれ、東京都出身。日本福祉教育専門学校卒業。老人ホーム、在宅会社の勤務を経て2002年(株)はっぴーライフ設立。2008年(株)エイチエール設立。今年6月、「デイサービス検索サイト「ダイケンサク」(www.daykensaku.com)を開設。ブログのURLはhttp://ameblo.jp/eichi-eru

◆◆◆  
以前の話ですが、「カリスマ」と言われる美容師の方々が注目された時がありました。彼らが一般美容師と大きく違う点があるのです。何かと言うと、「会話」です。コミュニケーション力です。広く深い知識にもとづく弾んだ会話の結果、緊張が取れ、自分のしたいスタイルを上手く伝える事が出来るのです。お客様に満足して頂く事が出来、カリスマ美容師と呼ばれる程、人気が出ているのです。

これは介護業界にも当てはまるのではないのでしょうか？自分の業界だけでなく、様々な業界、スポーツなど、広く関心を持つ事が大切だと思います。私自身の経験も踏まえて、ある月刊誌を、参加希望者には定期購読してもらいました。月刊誌のテーマを社員から3つたします。毎月1回、その記事を参加者全員で読みます。その後、テーマ毎に自分の感じた事、自分の生活で活かせる事、を発表します。同じテーマでも受け取り方が様々です。違った視点で見ると、自分の幅の広がりにつながります。本を読む習慣がつく事で、文章力も上がります。